

久しぶりに礎キリスト教会の皆さまと礼拝が出来ることを心から感謝いたします。  
信仰者の勇気というテーマで、説教に取り組みます。

### 1. 神様を信じるということ

- (1) 「真実でないと考える日が来ることを想像すると、神様を信じるのが怖い。」
- (2) このような悩みに、皆様でしたら、どのように答えるでしょうか。
- (3) 答えはともかくとして、この悩みは、信じることを真剣に考えている人の悩み。
- (4) 私たちは、どれだけ真剣に、神様を信じて生きているでしょうか。

### 2. 神様が私たちに求めている信仰

- (1) ヘブル書には信仰の様々な側面について記されています。
- (2) 今日の箇所では、二つのこと。「神様の存在」と「求める者には報いて下さる方」を信じるように。
- (3) 神様の存在を信じるだけでは、正しい信仰ではありません⇒ヤコブ2章19節
- (4) しかし「瞬時に報いて下さる」とか「願い通りに報いて下さる」とは教えられていません。
- (5) そのため、求める者には報いて下さると信じることは、「待ち望む勇気」と言うことも出来ます。

### 3. 三人の信仰者（ノア、アブラハム、サラ）

- (1) ノアは、箱舟を造船することを通して、待ち望む勇気を示しました。
- (2) アブラハムは、旅を続け、寄留者として生きることで、待ち望む勇気を示しました。
- (3) サラは、神様を信じることが出来ていないように見えるのですが、それでも待ち望む勇気を示したと評されました。

### 4. まとめ

- (1) 三者三様の待ち望む信仰のあり方。
- (2) それでは、今の自分にとって、待ち望む信仰のあり方とはどのようなものか考えたいと思います。
- (3) また、全ての信仰者に共通する、待ち望む信仰のあり方もあります。救い主到来を待ち望む。

今朝、私たちは待ち望むことの困難さを認めながら、それでも、それぞれの召しに応じて神様に期待し、求め続けること。全員で、キリストの到来を待つことに、取り組みたいと思います。